

## ■平成29年度第1回在宅療養推進協議会の議論のまとめ

参考6

問題のカテゴリ		問題・現状	課題	解決策(案)
負担の大きさ	医師	24時間対応の負担が大きい	負担を減らす必要がある	区で医師を雇用する 医師会の医師紹介サービスを活用する
		24時間対応の負担が大きい	夜間対応の負担を軽減する必要がある	患者(利用者)の状態予測をして日中に対応をする
	介護	定期巡回のヘルパーの夜間対応が多い	24時間対応できる事業所を増やして負担を軽減する必要がある	発言なし
		24時間、障がい者、難病対応できる訪問介護事業所が少ない	24時間対応できる事業所を増やして負担を軽減する必要がある	発言なし
連携	病院間	転院の受け入れ先の体制が整っていない	発言なし	発言なし
	医師間	外来患者が受診しなくなった場合に患者がどうなったのか分からない	患者を引き継ぐ際に医師同士で連携し、患者についての情報を共有する必要がある	発言なし
	多職種間	在宅医療で薬剤師が活用されていない	薬剤師が在宅に訪問することを介護関係者に周知する必要がある	在宅医療の研修や薬剤師会で在宅療養における薬剤師の役割を周知する
資源の少なさ	医療	在宅医療・訪問診療を実施している医師が少ない	在宅医療へ関与させるための誘導策が必要 外来診療があり時間的な余裕がない	発言なし 発言なし
		看取りまで行くかかりつけ医が少ない	外来診療があり時間的な余裕がない	バックアップ病院を活用する
		訪問診療を実施している歯科医師が少ない	外来診療があり時間的な余裕がない	発言なし
		訪問歯科診療をどこに依頼すればいいのか分からない	発言なし	発言なし
啓発・教育	市民向け	認知症サポーター修了者が実際の支援の場に出していない	修了者に定期訪問などの事業への協力をしてもらう必要がある	修了者に声かけをして、定期訪問などの事業への協力依頼を検討している
孤立死		孤立死が増加する	ケースワーカーを増やす必要がある (孤独死の多発群である)65歳前後の独居男性に介護予防活動や社会参加をしてもらう必要がある	発言なし 発言なし
		社会から孤立する人がいる	ひとり暮らしの高齢者が孤立しないようにする必要がある 社会と関わり持ちながら生活できる場が必要	区の見守り事業を充実させる 地域包括支援センターの機能強化をする 「街角カフェ」などの交流の場がある街作りを進める
		急性期病院の経営環境が厳しい	発言なし	発言なし
その他		介護士の採用が難しい	発言なし	発言なし
		地域包括支援センターが25箇所の本所へ拡充されるが人員体制が追いついていない	地域包括支援センターのコーディネーターの育成が必要	発言なし
		退院先の施設・病院に患者の家族が難色を示す	施設や病院への入居を早く決めないと埋まってしまうことを周知する必要がある	発言なし